

# 地域の特徴を踏まえた流域対策の検討例

# 地区の特徴を踏まえた流域対策検討の例

## 【雨水を貯める対策イメージ】

- 市街地に浸水が残余し、建物被害（床上浸水など）のリスクがある場合、市街地での貯留（各戸など民地や校庭貯留など公共用地）で実施できる市街地で雨水をためる対策のほか、上流にある水田など農地での田んぼ貯留、ため池貯留などを組み合わせることで、河川への流入量を軽減でき、床上浸水建物の軽減が期待される。

